

令和3年度  
事業報告書

学校法人 花園学園

## 1. 法人の概要

### (1) 基本情報

法人名 学校法人花園学園  
 所在地 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8番地の1  
 ホームページ <http://www.hanagaku.jp/>

### (2) 建学の精神

花園学園は、明治5年に臨済宗妙心寺の山内に宗門の子弟の教育機関として創設された「般若林」に始まる、「禅のこころ」を建学の精神とする学園です。

令和4年に学園創立150周年を迎える本学園は、創設以来、禅を根本に据えた教育を実践して成果を積み重ね、在学生約1,700人の大学、約1,200人の高等学校・中学校、約230人の幼稚園を擁する学園へと成長してまいりました。

本学園の目的は、単なる知識の獲得ではなく、禅を根底とした「こころを育てる」教育であり、これこそが現代社会が抱える諸問題を解決する大きな糸口となると確信しております。

花園大学は開創当時、臨済宗教団の近代化を図る上での主要機関として重要な存在意義を持っておりました。現在では、宗門の子弟だけでなく、歴史や福祉など目標の異なる多くの学生が集まり勉学や課外活動に励んでいます。「禅的仏教精神による人格の陶冶」を教育理念とし、「自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成すること」をミッションに、教育指導、人材育成に取り組んでいます。

花園中学校・高等学校は、教育方針として「《禅のこころ》《校訓》《臨済宗妙心寺派の『生活信条』》を教育活動に取り入れ、生きる力を育むこと」を掲げ、生徒自身が目的意識を持った学習の継続、より高い目標に挑戦するという気概と自立心の涵養、さらに知徳体のバランスのとれた豊かな人間性の育成を目指しています。そして、個々を尊重しつつ、自分自身の目標に向かって、正しく判断し行動するための教育を行っております。

洛西花園幼稚園は、仏教的な環境に触れる中で人間形成の基礎を培い、情操豊かな園児を育むことを目標としています。特に、「健康でいきいき活動し、豊かに生きるための基礎を身につけること」を教育方針に掲げて日々園児たちに接しております。

このように禅を根底とした教育の実践により、私たちが目指す自ら学び自ら解決する「自立した自分」「わたしの中にある仏の心」を確かなものとし、それをともしびとして生き、自らの輝きをもって社会を照らし貢献してゆく人材を育てることこそが大切だと確信しています。花園学園はこれからも豊かな人間性を与えるための教育を目指し邁進してまいります。

### (3) 学校法人の沿革

明治5	般若林(三年制)を創立(聯合総鬘設立の為、明治8年に閉鎖)
明治19	大教校を設立
明治27	大教校を廃し普通学林を設立
明治36	花園学林と改称
明治40	花園学院と改称して、中学部・高等部に分ける
明治44	花園学院高等部を臨済宗大学と改称し独立
大正8	花園学院中等部を花園中学と改称
昭和2	組織変更により花園中学校を設立(臨済学院中学部設立の為、昭和13年に廃校)
昭和9	臨済宗大学を臨済学院専門学校と改称 臨済学院中学部を設立
昭和10	設立者を財団法人妙心寺派教学財団に変更
昭和22	京都市委託により、臨済学院中学部に花園中学校附設(昭和24年に廃止)
昭和23	学制改革により臨済学院中学部を花園高等学校に改制
昭和24	花園大学設立 仏教学部仏教学科設置
昭和26	財団法人妙心寺派教学財団を学校法人妙心寺派教学団に組織変更
昭和27	花園高等学校 商業科を新設
昭和39	花園大学 仏教福祉学科設置
昭和41	学校法人妙心寺派教学団から学校法人花園学園に改称 花園大学 文学部設置
昭和43	花園高等学校 自動車科を新設
昭和52	花園大学 総合移転
昭和53	花園高等学校 普通科に特別進学コースを新設
昭和55	花園大学 文学専攻科設置
昭和56	洛西花園幼稚園設置
昭和57	高等学校寄宿舎(雪江寮)閉寮
昭和61	花園大学 国際禅学研究所設置
平成4	花園大学 社会福祉学部設置 社会福祉学科
平成6	花園大学 大学院文学研究科設置
平成7	花園高等学校 商業科を募集停止
平成10	花園大学 大学院社会福祉学研究科設置 花園高等学校 自動車科を自動車工学科に名称変更
平成12	花園大学 歴史博物館設置 花園大学 大学院文学研究科博士(後期)課程設置 花園大学 社会福祉学部社会福祉学科福祉介護コース開設

平成14	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科設置 花園大学 文学部仏教学科を国際禅学科に名称変更
平成15	花園高等学校 商業科を廃止 花園中学校設置
平成18	花園高等学校 自動車工学科を募集停止
平成19	花園大学 社会福祉学部福祉心理学科を臨床心理学科に名称変更 花園大学 臨床心理士養成課程（第1種）指定
平成20	花園大学 文学部文化遺産学科設置 花園大学 文学部創造表現学科設置 花園大学 文学部史学科を日本史学科に名称変更 花園大学 文学部国文学科を日本文学科に名称変更
平成21	花園大学 社会福祉学部児童福祉学科設置
平成22	生涯学習センターを開講
平成24	花園学園創立150周年記念事業準備室設置
平成25	花園大学 文学部国際禅学科を仏教学科に名称変更 花園学園 創立150周年記念事業事務棟（又玄館）設置
平成28	花園大学 文学部創造表現学科を募集停止 文学部文化遺産学科を募集停止 花園中学校 中高一貫スーパーグローバルZENコース新設 中高一貫ディスカバリーコース新設 一貫Sコースを廃止
平成29	花園大学 留学生別科設置

(4) 設置する学校・学部・学科等

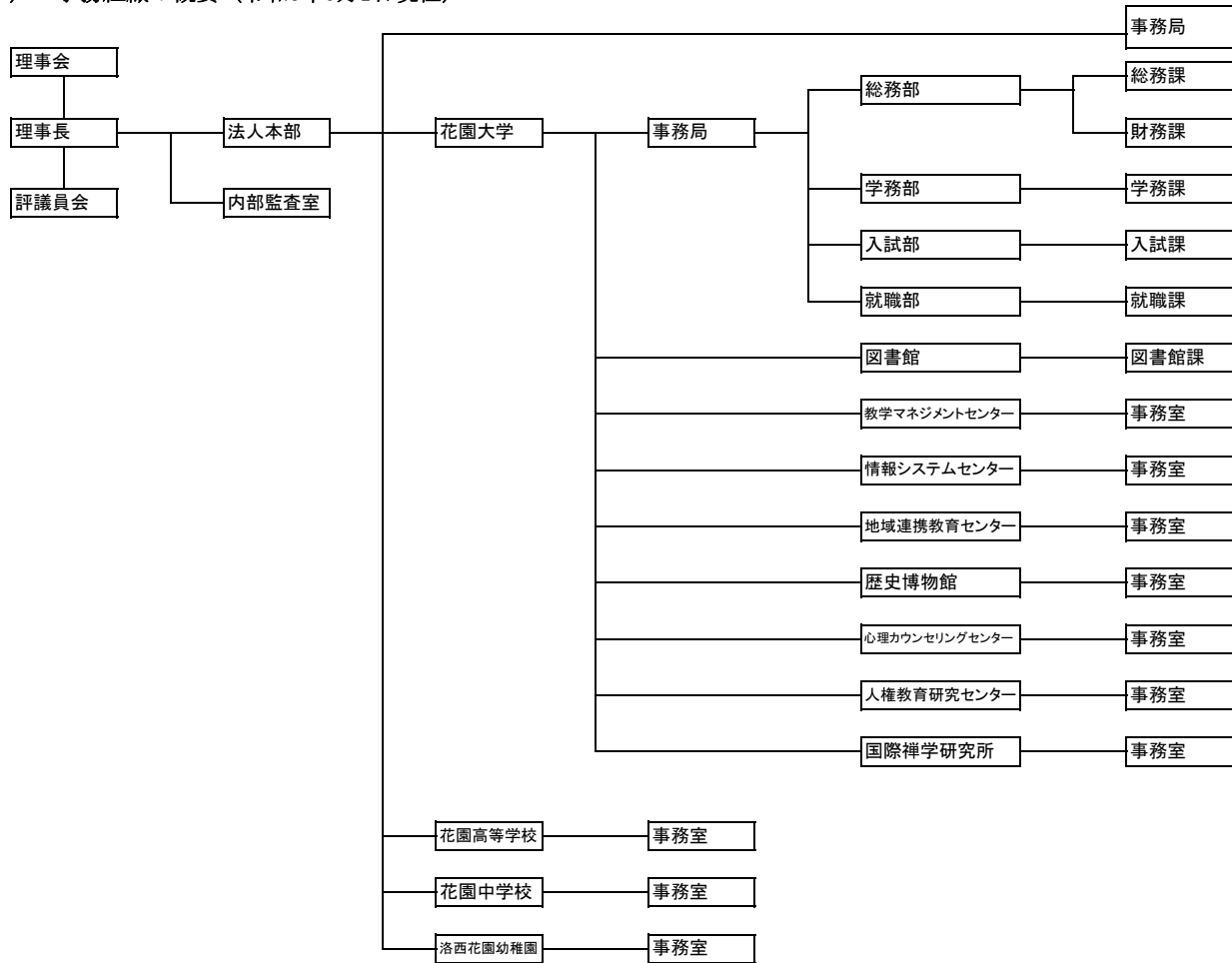
設置する学校	学部・学科等
花園大学大学院	文学研究科
	文学研究科専攻修士課程
	文学研究科専攻博士後期課程
	社会福祉学研究科
	社会福祉学研究科専攻修士課程
花園大学	文学部
	仏教学科
	日本史学科
	日本文学科
	文化遺産学科（募集停止）
	創造表現学科（募集停止）
	社会福祉学部
	社会福祉学科
	臨床心理学科
	児童福祉学科
留学生別科（募集停止）	
花園高等学校	全日制（普通科）
花園中学校	
洛西花園幼稚園	

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況（令和3年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	入学定員	入学者	収容定員	現員	
花園大学	文学部	160	138	645	702
	仏教学科	35	20	160	121
	日本史学科	65	69	255	323
	日本文学科	60	49	230	255
	文化遺産学科（募集停止）	0	0	0	1
	創造表現学科（募集停止）	0	0	0	2
	社会福祉学部	245	233	975	974
	社会福祉学科	80	92	320	340
	臨床心理学科	85	82	335	379
	児童福祉学科	80	59	320	255
	文学研究科	17	7	36	21
	文学研究科専攻修士課程	15	4	30	15
	文学研究科専攻博士後期課程	2	3	6	6
	社会福祉学研究科	10	5	20	11
社会福祉学研究科専攻修士課程	10	5	20	11	
留学生別科（募集停止）	40	0	60	0	
花園高等学校	320	410	960	1,093	
花園中学校	80	45	240	163	
洛西花園幼稚園	100	69	280	233	
合計	972	907	3,216	3,197	

(6) 事務組織の概要 (令和3年5月1日現在)



(7) 収容定員充足率 (毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
花園大学	90.29	92.20	95.62	104.00	101.91
花園高等学校	101.56	104.69	103.13	106.67	113.86
花園中学校	69.17	83.33	83.75	77.08	67.92
洛西花園幼稚園	67.50	61.07	71.43	73.57	83.21

(8) 役員の概要(令和3年5月1日現在)

理事定員：11名以上13名以内      監事定員：2名  
 理事現員：13名                      監事現員：2名  
 理事長      栗原 正雄  
 専務理事      松井 宗益  
 常務理事      上沼 雅龍、野口 善敬、堀尾 和良、磯田 文雄、石田 斉、溜 剛  
 理事      清水 良正、小山内定代、本間 愛教、鬼頭 孝道、宮川 潤一  
 監事      若山 昌子、人見 智裕

(9) 評議員の概要(令和3年5月1日現在)

評議員定員：26名以上31名以内  
 評議員現員：30名  
 評議員      栗原 正雄、松井 宗益、上沼 雅龍、野口 善敬、堀尾 和良、磯田 文雄、  
                  石田 斉、溜 剛、清水 良正、小山内定代、澤田 禅、吹田 良忠、  
                  古山 敬光、山本 清文、小海 宏之、師 茂樹、鏑田 英希、秦 美香子、  
                  中村 広記、中村 幸二、細川 晋輔、川本 成吾、佐野 泰典、柴山 昌実、  
                  梶 俊行、宮川 潤一、本間 愛教、川島由里子、千代 眞一、津村 恵史

(10) 教職員の概要 (令和3年5月1日現在)

(単位：人)

区分		法人本部	花園大学	花園高等学校	花園中学校	洛西花園幼稚園	計
教員	本務	0	71	84	19	14	188
	兼務	0	174	22	2	8	206
職員	本務	4	49	18	1	1	73
	兼務	0	3	3	0	2	8

2. 事業の概要

## 学校法人花園学園 中期ビジョン

花園学園は1792年(明治5年)妙心寺山内に臨済宗各派の宗門子弟の育成機関一般若林一としてその聲を挙げた。師匠から弟子へ受け継がれてきた禅の教えを、仏教の基礎知識と禅の素養を普遍的に修得することを目的に設立された。

爾後、変遷を遂げ、1948年(昭和23年)には花園高等学校(全日制 普通科)が設置され、1966年(昭和41年)には新制花園大学(文学部一仏教学科、社会福祉学科、史学科、国文学科)が生まれる。「禅的仏教精神による人格の陶冶」を学苑とし、宗門子弟だけではなく、広く学生を受け入れ、禅と仏教の知識を身につけ、社会に貢献し一隅を照らす人材を育成すべきとの目的で再構築された。そして、1981年(昭和56年)には洛西花園幼稚園が、1994年(平成6年)には花園大学大学院が設置され、2003年(平成15年)には花園中学校が花園高等学校に併設された。

それぞれの教育機関において、禅を基盤においた教育は知識の修得だけではなく、自ら獲得した価値観で社会に貢献することを目指し、これまでに様々な分野に数多の人材を輩出し、社会の進歩と発展に貢献してきた。

理 念

禅的仏教精神による人格の陶冶

指 針

禅を修得した人材を育成すること

学園の計画方針

今般、花園学園中期計画(2019年度～2021年度)は、本学園の創立150周年(2022年)に臨み、教育目標と、学園運営の原動力のため立案するものである。近年のAI(人工知能)の発達で社会が激変する中、これからは、AIの応用による高度な文明社会や日本の成熟社会において、多くの人が心豊かに過ごせるのが大きな課題となる。AIを使いこなし、人財として生きるための人間力を「自立と自律、おもしろいときがいの獲得」とするなら、花園学園が長年教育目標としてきた既成概念に捉われない柔軟な発想の陶冶は、まさに普遍的に変わらぬ必要なのであると確信する。進学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」を原点とし、禅を修得した人材を育成することが初心を忘れざる目的であり、変わらぬ方針である。

禅的人格の養成

坐禅や法話などの実践的な体験を通じ、「自らの内にある仏のおしえ」をともひびとして生き、自らの輝きをもって社会を照らし貢献してゆく人材を養成する。

禅・仏教の知識獲得と専門知識の獲得

花園学園が誇る教員陣により禅・仏教の知識を深め、進学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」を目指す。また、先端技術を利用した授業や各学科において専門知識を学ぶことで、個人の能力を高め、知識の獲得を目指す。

学生・生徒・園児への支援

生活支援(指導)や進学支援、就職支援など、学生・生徒・園児の修学をサポートし、充実した学校生活を送れるよう支援する。

将来を見据えた学園運営

2020年に花園学園は創立150周年を迎える。これを機に、老朽化している校舎等施設を改修し、最善の教育環境を確保する。又、ガバナンスの強化とチェック体制を強固にすることで健全運営を保つ。

(1) 事業の概要

<花園学園>

1. 学校法人花園学園中期ビジョンの計画実施と進捗管理
2. 学園創立150周年記念事業の推進
3. 学園ガバナンス・コンプライアンスの強化

<花園大学>

1. 建学の精神「禅的仏教精神に基づく人格の陶冶」を具現化し、自己を知り、他者を受け入れ、社会に貢献する人間を育成するため、花園大学中期ビジョン2021(計画期間2017～2021年度)最終年度における施策を推進する。
2. コロナ禍の中で学生の学修機会を確保するため、感染防止策を徹底するとともに学修環境を整備する。
3. 花園大学中期ビジョン2021の実施状況等を踏まえ、次期中期計画を策定する。
4. 花園学園創立150周年に向けてキャンパス整備事業を推進する。

<花園中学高等学校>

1. 建学の精神に基づく教育の実践
2. 夢を育て高い目標を持つ
3. 21世紀型教育の取り組み
4. 健全な学校運営

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成
2. 教職員の質の向上
3. 安全・安心の幼稚園づくり
4. 健全な幼稚園運営

## (2) 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

### <花園学園>

#### 1. 学校法人花園学園中期ビジョンの計画実施と進捗管理

学校法人花園学園中期ビジョンに基づいて各校が事業に取り組んだ他、次期中期計画として「花園大学中期ビジョン2022 - 2026」の作成をおこないました。

#### 2. 学園創立150周年記念事業の推進

寄付目標金額5億円の達成を目指し、趣意・現状報告・寄付のお願いをまとめた冊子を作成し、大学同窓会通信等に同封し募財活動を推進しました。いただいた寄付金は各校へ配分し、それぞれの記念事業に充当しました。

中学高等学校及び幼稚園では、年度内にすべての整備事業が完了し、生徒・園児への供用を開始しました。また、大学においてはメインとなる教室棟（返照館）の改築工事などに着手し、令和4年5月末完成に向けて順調に進捗しました。

記念式典は規模を縮小し、臨濟宗妙心寺法堂を拝借して令和4年6月14日に開催することとしました。また、式典では記念対談の実施についても決定しました。その他、記念誌「花園学園一五〇年史」を刊行しました。

#### 3. 学園ガバナンス・コンプライアンスの強化

寄附行為による学園運営に取り組んだ他、学園ガバナンスの強化の一環として「学校法人花園学園 花園大学ガバナンス・コード」の制定をおこないました。このコードは令和4年度より公表することとしました。

新型コロナウイルス感染症の対策として、理事会等の会議は座席間の距離確保、換気の徹底に努めた他、オンラインによる会議出席にも対応し、感染症対策とともに遠隔地からの出席の利便性を向上させました。

### <花園大学>

#### 1. 花園大学中期ビジョン2021に示す各項目の施策状況は以下のとおりです。

##### 【教育力の強化】

学生主体を基本としたカリキュラム改編と、科目の精選を行いました。

##### 【研究力の強化】

研究活動の活性化と外部資金獲得に向けて、教員対象の説明会開催等の積極的な研究支援に取り組みました。

コロナ禍に対応するため、個人研究費の柔軟な取扱いをおこなった他、研究費の効果的配分について検討しました。

##### 【学生支援力の強化】

コロナ禍で学修機会が失われないよう学修環境の整備に取り組みました。

各種実習費の見直しをおこない、学生負担の軽減を図りました。

##### 【就職支援力の強化】

学生へのきめ細かな個別カウンセリングやインターンシップ参加の促進、就職先や関連団体との関係強化に取り組みました。

WEBガイダンスなどのオンラインによる就職支援活動をおこない、就職内定率99.2%を達成しました。

##### 【経営力の強化】

コロナ禍において、昨年度に引き続き地道な広報・募集活動に取り組んだが、入学定員未充足となった。このことから、翌年度に向けて入試制度の抜本的な見直しをおこない、学生確保策の検討を開始しました。

カリキュラム改編によって科目の精選をおこない、適正な教員配置に努め、人件費抑制に繋げました。

教員採用方法の抜本的な見直しに取り組みました。

#### 2. コロナ禍の中で学生の学修機会を確保するため、感染防止策を徹底するとともに学修環境を整備

コロナ感染防止策として、一度の入構を50%以下に制限した上で、対面を原則とした授業をおこないました。また、妙心寺派支援特別奨学基金を活用したPCR検査費用の補助や空気清浄機等の設置をおこないました。

コロナワクチン職域接種を3回実施し、学生や教職員のコロナ感染症防止に全力を注ぎました。

#### 3. 花園大学中期ビジョン2021の実施状況等を踏まえ、次期中期計画を策定

花園大学中期ビジョンを検証し、新たな中期ビジョン2022-2026を策定しました。

#### 4. 花園学園創立150周年に向けてキャンパス整備事業を推進

楽道館の学生会館への改修、トレーニングルームの移設をおこないました。また、浩然館の解体など、西小路通に面した校地の整備をおこないました。

### <花園中学高等学校>

#### 1. 建学の精神に基づく教育の実践

各コースとも、年度当初に計画を立案し、コロナ禍においても実施可能な形態に移行させながら教育活動を実施しました。

#### 2. 夢を育て高い目標を持つ

昨年度に引き続き、一貫コースで実施されてきた各学年の海外研修は全て中止となりました。しかし、海外大学へ進学するという夢を持った生徒のために、授業内容を工夫しモチベーションの維持に努めました。同時に、コロナ感染症拡大により海外大学から国内大学に進路を変更する生徒の進路保障のために、柔軟なカリキュラムの選択を可能としました。また、主体的な学習のため、多数のEX講座や特別講座の開講、独習会の実施に努めました。

#### 3. 21世紀型教育の取り組み

生徒や保護者、教職員のコロナ感染者や濃厚接触者の増加を考慮し、随時オンライン授業や課題の配信を実施しました。実施する上で、ICT利活用教育の環境整備と推進が飛躍的に進みました。

#### 4. 健全な学校運営

新校舎建設に加え、コロナ禍に配慮した安心で丁寧な学校説明会やオープンキャンパスを繰り返し実施し、予想を上回る生徒数を確保できました。

<洛西花園幼稚園>

1. 基本的な生活習慣の形成

コロナ感染症防止のため、妙心寺派のご協力のもと仏教行事をおこないましたが、毎週の仏参は、全園児が集合しておこなうのではなく、各学年での取組としました。制限下でしたが、園児たちの心の成長に繋がりました。

遊びのルールや遊具の使い方などを徹底することで怪我などが減少し、安全に過ごすことができました。

幼稚園での様々な経験や体験を通じ、身心ともに健康な育成に繋げることができました。

2. 教職員の質の向上

職員会議を充実し、目標を設定して保育に取り組むことで、教職員同士が切磋琢磨した他、外部講師を招いて園内研修を実施し、保育に対する意欲を高めることができました。

毎日の終礼で情報共有を図ることにより、保護者や園児が安心して過ごせるようになりました。

コロナ禍で研修の形態が変化しましたが、ウェブ研修やライブ配信型の研修に積極的に参加し、教職員の保育力向上に繋がりました。

ICT教育充実のため、保育にタブレットを取り入れました。

生活発表会の参観に人数制限を設けたため、同時刻に動画配信をおこなう対策を実施したところ、各家庭や遠方のご家族にも観ていただくことが可能となり大変好評をいただきました。

3. 安全・安心の幼稚園づくり

コロナ感染防止に努めながら、京都府警の平安騎馬隊に来園いただき、交通ルールや横断歩道の渡り方などの指導をしてもらい、園児たちにとって良い学びとなりました。また、避難訓練をおこなうことで、安全、安心な幼稚園づくりに努めました。

教職員で、園内の危険箇所の有無、遊具の点検のため、常に見回ることとしました。

4. 健全な幼稚園運営

未就園児対象のパンピの会やリンちゃんクラブを開催することで、幼稚園の評判に繋がり、入園数が安定しました。

日々の丁寧な保育に加え、各家庭との連携を密におこない、安心かつ健全に園児たちが過ごせる環境づくりができました。

自園給食を開始し、栄養バランスを考えた昼食を提供することができるようになり、また好き嫌いなく食べられる園児が増えました。

学園創立150周年記念事業として進めてきました園内整備事業が全て完了し、保護者のニーズに応える施設が完成したことや、ICT教育や動画配信など新しい取り組みがロコミで拡がり、園児獲得に繋げることができました。

3. 財務の概要

(1) 経年比較

① 貸借対照表

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
固定資産	27,844,626	27,757,453	28,358,357	28,754,343	29,338,154
流動資産	3,698,531	3,589,116	3,406,808	3,815,346	4,402,694
資産の部合計	31,543,158	31,346,569	31,765,166	32,569,689	33,740,848
固定負債	995,744	935,228	1,408,811	2,578,402	3,574,659
流動負債	587,016	687,770	718,548	738,961	825,281
負債の部合計	1,582,761	1,622,999	2,127,359	3,317,364	4,399,940
基本金	29,105,474	29,128,219	29,645,746	30,448,949	31,462,073
繰越収支差額	854,922	595,351	△ 7,939	△ 1,196,624	△ 2,121,164
純資産の部合計	29,960,397	29,723,570	29,637,806	29,252,325	29,340,908
負債の部及び純資産の部合計	31,543,158	31,346,569	31,765,166	32,569,689	33,740,848

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
運用資産余裕比率	3.82年	3.73年	3.54年	2.96年	2.62年
流動比率	630.06	521.85	474.12	516.31	533.48
総負債比率	5.02	5.18	6.70	10.19	13.04
前受金保有率	858.77	707.90	706.25	869.57	977.16
基本金比率	99.51	99.63	98.65	94.70	91.39
積立率	110.75	109.11	105.21	98.41	92.93

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
学生生徒等納付金収入	2,640,404	2,622,404	2,666,010	2,796,141	2,819,599
手数料収入	61,584	71,033	75,421	66,112	59,199
寄付金収入	100,141	78,716	363,268	237,983	239,811
補助金収入	867,003	880,094	823,466	1,012,557	1,228,228
資産売却収入	1,515,453	419,215	349,836	1,215,776	2,067,748
付随事業・収益事業収入	15,594	21,158	7,658	1,852	12,359
受取利息・配当金収入	153,304	205,611	211,483	208,659	204,886
雑収入	60,548	153,130	122,439	74,813	228,723
借入金等収入	0	0	433,320	1,280,000	1,210,000
前受金収入	417,642	482,208	453,430	414,262	405,530
その他の収入	562,889	269,470	330,285	1,083,104	1,169,657
資金収入調整勘定	△ 468,716	△ 582,857	△ 656,310	△ 639,934	△ 848,947
前年度繰越支払資金	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342	3,602,313
収入の部合計	9,310,481	8,206,753	8,593,854	10,953,674	12,399,109

支出の部	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費支出	2,275,784	2,434,521	2,457,683	2,406,748	2,625,743
教育研究経費支出	1,067,138	1,107,676	1,097,041	1,323,002	1,211,852
管理経費支出	330,147	331,021	339,006	270,771	329,790
借入金等利息支出	2,351	1,820	1,479	2,173	3,867
借入金等返済支出	35,888	35,888	35,888	35,888	37,142
施設関係支出	56,547	67,026	781,430	1,936,581	1,555,895
設備関係支出	34,023	84,494	82,778	247,791	133,018
資産運用支出	1,694,149	681,384	605,385	1,021,229	2,345,572
その他の支出	285,570	136,894	198,585	254,012	312,954
資金支出調整勘定	△ 57,685	△ 87,518	△ 207,765	△ 146,838	△ 119,392
次年度繰越支払資金	3,586,566	3,413,544	3,202,342	3,602,313	3,962,665
支出の部合計	9,310,481	8,206,753	8,593,854	10,953,674	12,399,109

(千円未満は切り捨て)

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,732,176	3,815,319	3,730,020	3,931,143	4,191,665
教育活動資金支出計	3,673,070	3,873,219	3,893,730	4,000,522	4,127,537
差引	59,106	△ 57,899	△ 163,710	△ 69,379	64,128
調整勘定等	176,597	23,941	△ 21,670	21,628	△ 97,583
教育活動資金収支差額	235,703	△ 33,958	△ 185,381	△ 47,750	△ 33,455
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	13,100	42,895	378,435	1,018,744	1,196,368
施設整備等活動資金支出計	270,609	363,397	1,070,149	2,286,146	2,301,883
差引	△ 257,509	△ 320,502	△ 691,713	△ 1,267,402	△ 1,105,514
調整勘定等	6,674	11,593	113,305	△ 71,568	△ 244,854
施設整備等活動資金収支差額	△ 250,835	308,908	△ 578,408	△ 1,338,970	△ 1,350,369
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 15,131	△ 342,866	△ 763,789	△ 1,386,720	△ 1,383,824
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,872,287	760,443	1,109,497	2,853,784	3,665,448
その他の活動資金支出計	1,636,972	587,733	540,716	1,051,880	1,922,245
差引	235,315	172,709	568,780	1,801,904	1,743,202
調整勘定等	△ 18,248	△ 2,865	△ 16,722	△ 15,213	974
その他の活動資金収支差額	217,066	169,844	552,058	1,786,691	1,744,176
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	201,935	△ 173,022	△ 211,731	399,970	360,351
前年度繰越支払資金	3,384,631	3,586,566	3,413,544	3,202,342	3,602,313
翌年度繰越支払資金	3,586,566	3,413,544	3,202,342	3,602,313	3,962,665

(千円未満は切り捨て)



ウ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動資金収支差額比率	6.32	△ 0.89	△ 4.79	△ 1.21	△ 0.80

③ 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

事業活動収入の部	科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	学生生徒等納付金	2,640,404	2,622,404	2,666,010	2,796,141	2,819,599	
手数料	61,584	71,033	75,421	66,112	59,199		
寄付金	88,256	71,935	61,747	48,407	39,358		
経常費等補助金	867,003	876,660	797,702	945,306	1,032,426		
付随事業収入	15,594	21,158	7,658	1,852	12,359		
雑収入	41,393	131,083	109,527	65,402	180,859		
教育活動収入計	3,714,236	3,794,277	3,718,068	3,923,223	4,143,802		
事業活動支出の部	科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	人件費	2,302,292	2,377,033	2,459,751	2,384,851	2,569,914	
	教育研究経費	1,457,474	1,483,120	1,478,486	1,761,397	1,635,383	
	管理経費	375,616	374,842	376,830	321,947	335,758	
	徴収不能額等	159	219	82	267	6,738	
	教育活動支出計	4,135,544	4,235,216	4,315,149	4,468,464	4,547,794	
教育活動収支差額		△ 421,307	△ 440,938	△ 597,081	△ 545,241	△ 403,992	
教育活動外収入の部	科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	受取利息・配当金	153,304	205,611	211,483	208,659	204,886	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	450	17,782	
	教育活動外収入計	153,304	205,611	211,483	209,109	204,904	
	教育活動外支出の部	科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
借入金等利息		2,351	1,820	1,479	2,173	3,867	
その他の教育活動外支出		0	0	0	6,928	0	
教育活動外支出計		2,351	1,820	1,479	2,180	3,867	
教育活動外収支差額		150,953	203,791	210,004	206,929	201,036	
経常費収支差額		△ 270,354	△ 237,147	△ 387,076	△ 338,312	△ 202,955	
特別収入の部	科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	資産売却差額	3,900	465	0	2,019	36,985	
	その他の特別収入	13,120	11,262	328,258	259,056	398,020	
	特別収入計	17,021	11,728	328,258	261,076	435,006	
	特別支出の部	科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		資産処分差額	3,995	11,407	26,945	308,245	103,619
		その他の特別支出	0	0	0	0	39,848
特別支出計		3,995	11,407	26,945	308,245	143,468	
特別収支差額		13,026	320	301,312	△ 47,169	291,538	
基本金組入前当年度収支差額		△ 257,328	△ 236,826	△ 85,763	△ 385,481	88,582	
基本金組入額合計		△ 293,431	△ 180,000	△ 517,527	△ 803,203	△ 1,013,123	
当年度収支差額		△ 550,759	△ 416,826	△ 603,290	△ 1,188,684	△ 924,540	
前年度繰越収支差額		1,402,432	854,922	595,351	△ 7,939	△ 1,196,624	
基本金取崩額		3,250	157,255	0	0	0	
翌年度繰越収支差額		854,922	595,351	△ 7,939	△ 1,196,624	△ 2,121,164	

科目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業活動収入計	3,884,562	4,011,617	4,257,810	4,393,409	4,783,713
事業活動支出計	4,141,891	4,248,444	4,343,574	4,778,890	4,695,130

(千円未満は切り捨て)

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業活動収支差額比率	△ 6.62	△ 5.90	△ 2.01	△ 8.77	1.85
学生生徒等納付金比率	68.27	65.56	67.85	67.66	64.84
人件費比率	59.53	59.43	62.20	57.71	59.10
教育研究経費比率	37.68	37.08	37.62	42.62	37.61
管理経費比率	9.71	9.37	9.59	7.79	7.72

## (2) 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

収入の部について、学費改定などにより、学生生徒等納付金収入は前年度に比べ23,458千円増額し、2,819,599千円の収入となりました。また、学園創立150周年記念事業の一環として寄付金を募り、寄付金収入は239,811千円の収入となりました。借入金等収入は、学園創立150周年記念事業のため1,210,000千円の収入となりました。

支出の部について、退職者が増加したことなどから人件費支出は前年度に比べ218,994千円の増額となりました。教育研究費支出は前年度に新型コロナウイルス感染症に関連し緊急支援等をおこなっており、111,150千円の減額となりますが、コロナ禍前の水準に近い値となりました。借入金等利息支出及び借入金等返済支出は学園創立150周年記念事業に関連した借入金のためそれぞれ前年度より増額となりました。施設関係支出は引き続き学園創立150周年記念事業としてキャンパス整備をおこなっていることから1,555,895千円の支出となりました。翌年度繰越支払資金は前年度より360,351千円増額の3,962,665千円となりました。

事業活動収支について、経常収支差額は前年度より135,356千円改善したもののマイナスの202,955千円となりました。特別収支を合わせた基本金組入前当年度収支差額は88,582千円となり、学園創立150周年記念事業として実施しているキャンパス整備で一部完成をむかえた施設等により基本金組入額合計は1,013,123千円となりました。以上から、当年度収支差額はマイナスの924,540千円となりました。